

■5月12日（火） <極人に聞く>

五木 寛之（いつき ひろゆき）

作家

「涙と笑い」

※講演 90 分のみ、質疑応答はありません。

1932 年、福岡県に生まれ。生後まもなく朝鮮半島に渡り、戦後、北朝鮮より引揚げ。早稲田大学文学部ロシア文学科中退。1966 年、『さらばモスクフ愚連隊』で小説現代新人賞、『蒼ざめた馬を見よ』で第 56 回直木賞受賞。『青春の門』で吉川英治文学賞をうける。1981 年より休筆、京都の龍谷大学において仏教史を学ぶが、1985 年より執筆を再開し、泉鏡花文学賞、吉川英治文学賞、その他の選考委員をつとめる。作詞家、翻訳家としても活躍。



■5月22日（金） <人の力を信じる経営>

松本 晃（まつもと あきら）

カルビー株式会社 代表取締役会長兼 CEO

「カルビーはどうやって変わったのか」

1947 年京都府生まれ。京都大学大学院農学部修士課程修了後、伊藤忠商事(株)に入社。ジョンソン・エンド・ジョンソン メディカル(株)代表取締役社長、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)代表取締役社長、最高顧問を歴任後、2009 年より現職。現在まで 5 期連続の増収増益を達成。老舗企業を再び成長軌道に乗せた「プロ経営者」と言われる。



■5月26日（火） <極人に聞く>

川村 元気（かわむら げんき）

映画プロデューサー・小説家

「企画における”発見”と”発明”」

1979 年、横浜生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業後、東宝入社。社内の企画募集に応募したことからプロデューサーとなる。26 歳で企画・プロデュースした映画『電車男』が興行収入 37 億円の大ヒットを記録、社会現象にもなる。その他代表作は『デトロイト・メタル・シティ』『告白』『悪人』『モテキ』『おおかみこどもの雨と雪』。米ハリウッド・リポーター誌の「Next Generation Asia 2010」に選出され、2011 年には優れた映画製作者に贈られる「藤本賞」を史上最年少で受賞する。近年、作家としての活躍も目覚ましく、デビュー作『世界から猫が消えたなら』が 2013 年本屋大賞、2015 年、『億男』が 2015 年本屋大賞にそれぞれノミネートされる。

